

福井しあわせパラ☆スポーツデー
ソフトバレーボール 競技要領

1 参加申込

- (1) 精神障がいのある方。
- (2) 障がいのない方。(ただし、人数については 3 競技方法 (2) 参照)。
- (3) チーム単位で申し込みを行う。

2 試合形式

- (1) 予選リーグを行い、各リーグ 1 位・2 位のチームによる決勝トーナメントを行うものとする。
ただし、参加チームが多数あり、所定の時間内に大会を終了することが困難であることが予想される場合には、試合形式を変更する場合がある。
- (2) 予選リーグは 2 セットマッチ 1 1 ポイント制、決勝トーナメントは 3 セットマッチ 1 1 ポイント制で行うものとする。ただし、参加チームが多数の場合、セット数を減らす等の変更をする場合がある。
- (3) 両チームが 1 0 ポイントに達したときは、2 ポイント差がつくまで試合を継続する。ただし、上限は 1 3 ポイントまでとする。
- (4) 予選リーグにおける勝敗は、勝ち点 (ポイント) 制とし、点数は以下のとおりとする。同点の場合は、チームの代表者によるじゃんけんで勝ったチームを上位とする。

勝敗	点数
2 セット獲得 (全勝) したチーム	3 点
1 セット獲得 (1 勝 1 敗) し、獲得した合計点数が多いチーム	2 点
1 セット獲得 (1 勝 1 敗) し、獲得した合計点数が少ないチーム	1 点
1 セットも獲得できなかった (全敗) したチーム	0 点

3 競技方法

- (1) コートはバドミントン用コートを使用するものとする。
- (2) チーム編成は、選手 1 0 名以内とし、健常者の参加を認める。
同時にプレーを行う人数は 6 人とする。
ただし、常時 5 名以上の「障がいのある人」が競技していなければならない。
- (3) サーブは、コート外のサービスラインから行うことを原則とするが、特別な事情により困難な場合は、コート内から行うことができる。また、アンダーハンドサーブのみとする。
サーブは 2 回まで行えるが、ネットインは認めない。
- (4) サーブ権を得たチームは、ローテーションを行い、サーバーは得点ごとに交代する。

4 その他

- (1) 練習球は各チームで用意すること。
- (2) 本大会での使用球は、(公財) 日本バレーボール協会認定のソフトバレーボールとする。(ミカサ製 円周 7 8 c m ± 1 c m、重量 2 1 0 g)
- (3) この要領に定めるもののほか大会の実施に必要な事項は、代表者間で申し合わせ事項を設けて協議することとする。
- (4) 参加チーム数の状況に応じて、試合形式・競技方法を変更することがある。